



赤岩ふれあいの家

「ふれあい家(ち)」「赤岩家(ち)」とも呼ばれる観光案内所。地元の方が交代でいらしています。赤岩の名産品が並び、中、「赤岩おむすび」が人気。お邪魔した時期はタケノコが並んでいました。夏はさらに地場野菜が並びます。



謎の△

あちこちにあった不思議な三角。コミック「ゆるキャン△(17巻)」でも「キャンプ場の目印?」と話すシーンがあります。正解は消火水槽が積雪や凍結で開けにくくならないように覆っているカバー。六合ならではのものです。

湯本家住宅

湯本家は江戸後期建築の旧家で、医業・売薬・養蚕を営んだ名家。幕末には高野長英をかくまったと伝わり、築220年の建物は町指定重要文化財となっています。残念ながら2027年の公開に向けて修繕工事中でした。



Vol.48 アポなし 出会い隊

～中之条町(旧六合村)赤岩地区周辺～

町の素敵に出会いたい!今回は町を飛び出し、旧六合村の赤岩地区周辺をアポなしでカシマシ3人娘がテクテク散策します♪

1. 赤岩ふれあいの家

2. 謎の△

3. 湯本家住宅

4. かいこんち(懐古の家)

5. てくてく素敵な出会い

6. 赤岩神社

歩いた距離は約2キロ

4 かいこんち(懐古の家)

懐古の家は、昔ながらの暮らしを伝える貴重な建物です。かつて養蚕が行われていた広い空間に養蚕用具や資料が展示されていて無料で見学出来ます。入口に重りを使って自動で閉まる仕掛けがあり、その仕掛けに大盛り上がり!

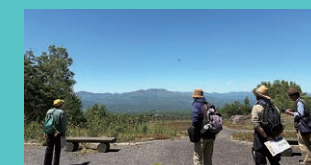


5 てくてく素敵な出会い

畑仕事をしていた関さん、私たちにちのこへ気さくに声をかけてくださいました。とてもお元気で、かつて養蚕を営んでいた頃の暮らしや工夫を楽しそうに話してくれました。地域の歴史を今に伝える存在ですね。

6 赤岩神社

赤岩神社の入口は厳かな風格。よしゅ!と階段、坂道、そしてまた階段...と続く道のりはまるで小さな修行のようで、約60メートルを登りきった祠からは浅間山を望むことができました。



密着します!べったり娘



長野原町営浅間園

～浅間園「お花観察会」に参加しました*～

お花観察会が開催された5月30日は、雲一つない青空が広がる、気持ちのよい一日でした。ビジターセンターを出発し、日本百名山の浅間山・草津白根山・四阿山の美しい姿を眺めながら見晴台を經由し、「鬼のヒミツ道」を通って戻り約2時間のコースを花を見つけながら歩きました。浅間園サポーターズの皆さんに花の名前や特徴、樹木の見分け方などを教えていただきながら歩く遊歩道では、多くの発見がありました。溶岩の上に自生する高山植物の力強さに感心し、蛍光黄緑に光るヒカリゴケに驚き、ウラジロヨウラクという愛らしい釣り鐘形の花を見つけたときは、とても嬉しい気持ちになりました。

その年の気候によって開花時期が変わることもあるそうで、出会える花はまさに一期一会。私の好きなイワカガミも、まだ少し咲いていましたよ。浅間園にはツツジ科の植物が約20種



ウラジロヨウラク



ヒカリゴケ



イワカガミ



オトシブミのゆりかご(葉)



タチツボスミレ

類もあると聞きびっくり。自然の息づかいを感じながら歩いた2時間は、浅間園の奥深い魅力をあらためて教えてくれる時間となりました。



お問合せ

一般社団法人つなぐカンパニーながのはら 事務局

群馬県吾妻郡長野原町大字川原湯223番地5 [川原湯温泉あそびの基地NOA内]

Tel.0279-82-5895(代表) Fax.0279-82-5896 info@tsunacom.or.jp

最新の活動は、facebook「つなぐカンパニーながのはら」でも発信しています。

「つなカン」HPはコチラでアクセス→



74号 2026.7



つなぐ
カンパニー
ながのはら

ら♪ら♪ら通信

「やんばでウォーキング2026」が無事に終わり本当に良かったです。ハッ場ダム周辺の素晴らしい景色&町の特産物を町外の人々と共有できたことは、とても嬉しくもあり、また来てもらいたいな!という今後の活動意欲にもなりました。そして、町内のボランティアの皆様との繋がりを改めて実感し、感謝感謝の当日でありました!!!



笑顔に包まれた「やんばでウォーキング2026」

長野原町を知ってもらう良いイベントになりました!

受付会場 /

「長野原町へようこそ!」を合言葉に、町外からの参加者に長野原町の魅力を味わっていただく「やんばでウォーキング2026」を5月31日に開催しました。約200人の方にご参加いただき、青空のもと、ハッ場あがつま湖をさまざまな角度から楽しめる約7キロのコースを歩いていただきました。

途中では、地元ならではのおもてなしをご用意しました。北軽井沢「やまこきのこ園」のきのこを使ったけんちん汁、北軽井沢産とうもろこしを使った「岩田農園」の冷たいコーンスープ、北軽井沢産のふくら甘い花豆、川原湯温泉「丸木屋旅館」の特製モナカ、「豊田乳業」のヨーグルトなどです。参加者の方から「おいしい!」という声を多くいただき、地元の食を提供することは長野原町を知っていただくうえでも大変意義のある取り組みとなりました。また、おもてなしに加えてスタンプラリーも実施し、さらに楽しんでいただけたことと思います。

最後になりましたが、ご後援、ご協賛、ご協力いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。



実行委員長の豊田さん



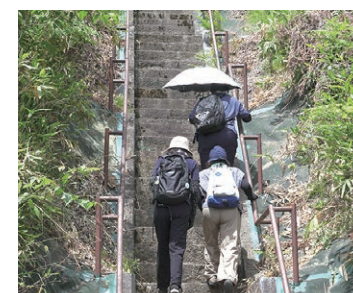
川原湯温泉太鼓で盛り上げます!



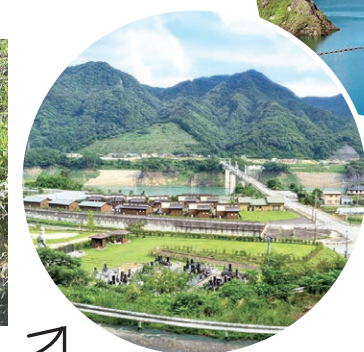
いよいよ出発だー! 歩くぞー!



キレイな新緑が参加者を出迎えてくれました



階段の先にある景色を目指して!



頑張るボランティアの姿は中面で紹介してます→

「やんばでウォーキング2026」ボランティアの皆さん、大変お世話になりました! 事後アンケートで最も多く寄せられたのは、スタッフに関する温かいお言葉でした。「丁寧」「親切」「元気」「笑顔」「声がけ」などの評価が多く見られ、「人」への高い評価がこのイベントに大きな付加価値を与えてくれました。今回のイベントを支えてくださった50名を超えるボランティアの皆さんに、心から感謝申し上げます。皆さんの笑顔と温かいサポートが、このイベントを成功へと導いてくれました。

「やんばでウォーキング2026」は、参加者の笑顔があふれる一日となりました。次回は、住民の皆さんにもより気軽に参加いただき、地域全体で盛り上げていけるイベントにしていければと願っています。

王湯でけんちん汁 /



あったけけんちん汁でエネルギー補給!

ホッとステーション往路 /



ハッ場ダムスタンプラリー /



岩田農園の冷製コーンスープ /



美味しい!美味しい!とゴクゴクと飲んでいただきました!

湖畔公園展望
スタンプラリー /

三堂のスタンプラリー /

湖畔公園展望
フォトスポット /

はい!チーズ!でいい笑顔!スタッフも思わずニコリ!

ボランティアマんの道案内 /



道案内も分かりやすかったとの声もいただきました!



もっとつながる*つなカン情報 Tsunacom Information

会員募集中

町内外問わずどなたでも入会いただけます

～皆さまの活躍の場があります!～

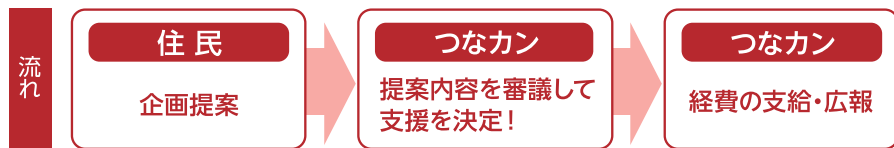
町の課題や活性化のアイデアなどについて自由に話し合う「つなカンミーティング」にも参加できます!

入会希望の方は事務局までご連絡ください

つなカンチャレンジ随時募集中!

1人でも応募OK!

公益性や新規性があることでやりたいことにチャレンジ!
つなカンが広報のお手伝いをしたり、補助金(最大5万円まで)が出ます



住んでいるけど意外に知らない?長野原町のすごいところを再発見しよう!つなカンでは、見て・触れて・体験しながら長野原町を知る「つなカン ふるさと再発見」を企画しています。「おやこで自然体験!虫たちの不思議な世界～小さな発見、大きな感動～」の前編として6月6日に基礎編を行いました。ハッ場あがつま湖を見下ろす温井沢桜公園で、親子3家族が参加し、「虫たちの不思議な世界」をテーマにした自然体験イベントを行いました。前日は雨。湿気があると虫が出やすくなるという絶好の条件の中、まずは昆虫の体のつくりについて学びました。昆虫は「頭・胸・腹」の3つに分かれ、6本の足は胸から生えていることなど、身近だけれど意外と知らないポイントに、子どもたちも「へえ～」と興味津々。続いて、虫偏の漢字にも注目。「蜂」「蛭」「蟻」などの難しい漢字に挑戦し、「蛸」「蠍」など虫ではないのに虫偏がつく漢字の理由も学びました。昔の中国では、植物と動物以外の生き物を「虫」と考えていたためだそうです。「虹」に虫偏がつくのも、大蛇と見なされていたからという説が紹介されました。その後は虫取り網の使い方を練習し、いよいよ虫採集へ。親子で力を合わせて、蝶やテントウムシ、色鮮やかなハムシなどを捕まえ、参加者の皆さんで観察したあとは空へと逃がしました。次回は8月、北軽井沢で「実践編」を開催予定です。親子で自然とふれあう夏と一緒に楽しみませんか。詳細はこちらをご覧ください→

※昆虫採集が禁止されている場所や種類があり、ルールを守りご案内します

つなカン 親子 虫 検索



6月12日に、町長として初めての町定例議会を終えたばかりの星河町長にインタビューさせていただきました。今まで議員として議会に出席していましたが、町長という立場になると自分の言葉にさらに責任が伴うので「実は朝から少し緊張していたんだよ」と少しホッとした表情でお茶をゴクリ。そんな気さくな町長に私たちも緊張がほぐれます。「どんな町を目指すか」の質問にまず答えてくださったのは「楽しい町をつくりたい」でした。どの年代の町民も、どの地区の町民も、みんなが「笑顔」になれる町。言葉にしまえば簡単ですが、不公平なく「みんな」が笑顔というのは大変難しいことですが、とても大切に素敵なテーマであると思いました。

その実現のために大切にしているのは、町民との対話のキャッチボール。行政の施策と町民が望んでいる行政サービスが一致することが大切。自己満足の施策にならないように、また行政が何をしているのかがわかるようにするためにも、町民の声をしっかり受け止め、そして答えを返していくことができるように町民からのメッセージを直接受け付けています。すでに何件かお便りがあり、そのやり取りをSNSでご覧になった方もいると思います。SNS活動としては、他にも町のPRを兼ねて町の魅力を発信していくことにも力を入れているそう。新町長の活躍はまだ始まったばかり。長野原をさらに笑顔があふれる町へ!新たなスタートが切られました。



長野原町のハートフルスポット

公開中だよ/
ハートフルMAP

ハッ場ダムのダムサイトエリアで
営業を行う事業者を募集中

多くの観光客が集まるエリアを有効利用し、回遊性の向上と地域活性化につながることを目的としています。この「都市・地域再生等利用区域(河川空間のオープン化)」は長野原町が国土交通省に要望し、指定されました。利用の調整や許可は長野原町から委託を受け当団体が行います。詳細はQRコードよりご覧ください。

ダムカレーのご飯がハート～道の駅 ハッ場ふるさと館～
名物「ハッ場ダムカレー」のご飯はハート型!
凹みは「減勢工」なんですって。食べ方のお作法があり、
今回はお作法通りにいただきました。